

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 32-004

PDCA	事務事業名	議会情報関係	部課等名	市議会事務局議事担当	担当 内線等	尾中 544	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第6章 自立した地域経営のまち					
		節：第1節 行財政運営とサービスの向上					
		基本施策：1. 行政運営					
		単位施策：					
	根拠法令等	個別施策：					
対象・目的	市民に対し開かれた議会を目指し、議会日程、一般質問要旨、会議録など議会に関する情報を適切に提供する。また、議会活動の情報発信については可能な限り要請に応える。						
	目的を達成するための手段・活動内容 全戸配布する「はんだ市議会だより」の発行にあたり、広報委員会を開催し編集作業を行う。議会ホームページにより最新情報を提供する。情報公開条例に基づき情報を開示する。開かれた議会となるよう、議会報告会や市民と交流するイベントを実施する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①「はんだ市議会だより」の発行回数		5	5	5	回
		②市議会広報委員会開催回数		10	16	15	回
		③会議録検索システムの更新回数		8	7	11	回
		事業費		3,539	3,434	3,603	千円
		人件費		4,060	3,726	3,703	千円
		総事業費		7,599	7,160	7,306	千円
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位
	①「はんだ市議会だより」発行1回当たりのコスト		633,509	584,681	586,723		
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		議会情報提供を滞りなく円滑に行うことができた。		実績値			
				目標値			
				実績値			
				目標値			
				実績値			
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 法定事務	④上位施策への貢献	—	⑦コスト削減余地	ある	
		②市民ニーズ	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更		
	事業の 評価・課題	③休廃止の影響	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
		B					
		開かれた議会となるように編成されている「広報」「広聴」「交流企画」委員会において、市民への情報発信の強化等に必要な課題に向き合い、改善を行った。広聴部門の議会報告会は、コロナ禍での手法として動画配信サイトYouTubeにて録画配信を行っているため、オンラインでいつでも、何度でもアクセスできる動画で残すことができ、議会の積極的な情報公開にも繋がっている。また、議会ホームページの内容改善を行い、キッズページや議会用語解説ページなどを新設し、多世代へ丁寧な情報発信をすることにも努めた。					
		A 課題解決のための目標					
		今後の事業の方向性	拡充推進 全議員が、広報、広聴、交流企画のいずれかの委員会に所属しているため、議会からの情報発信がより丁寧に実施されるように努めているが、コロナ禍における議会の情報発信の在り方については、新たな媒体（SNS等）を活用することも含めて議会ICT化推進プロジェクトを中心に検討していく。紙媒体で発信している「はんだ市議会だより」については、伝えるべき内容をより見やすくわかりやすくなるようなデザインに改善するなどの議会運営委員会からの提言を基に、在り方について併せて検討していく。				
		令和3年度の目標	成果指標		目標値	単位	
			議会情報提供を滞りなく円滑に行っていく。				